

## 中国の記事から（畜産）

---

2006年4月10日号

### 目次

- ◎長春新高食品有限公司、東北最大規模の乳製品工場が完成  
【経済日報 2006年04月03日】
  - ◎広東省、違法輸入の食肉1000トンを摘発  
【国際商報 2006年04月03日】
  - ◎蒙牛乳業、牛乳・乳製品市場シェアトップの座獲得  
【経済日報 2006年04月06日】
  - ◎メタンガス利用する発電事業、湖南省湘陰県で始まる  
【中国化工報 2006年04月10日】
- 

- ◎長春新高食品有限公司、東北最大規模の乳製品工場が完成  
【経済日報 2006年04月03日】

長春新高食品有限公司が、2億4000万元を投じ建設していた乳製品工場（第一期）が先ごろ完成した。第二期の工場も13億元を投じて建設する予定である。オーストラリアから乳牛1万5000頭を導入し、生乳生産能力は15万トンに上る。

全工場の加工能力は、「玉米乳」（トウモロコシ絞り汁を利用した新飲料）が年間60万トン、乳製品が10万トンと東北地区でいずれも最大規模に達する見込みである。

また、吉林省長春市とその周辺地区で3000頭規模の乳牛飼育場を4カ所建設するほか、飼育者が自ら運営、同会社が全面的に技術サービスを行う牧業区も10～15カ所建設し、乳牛の飼育規模は2万頭に達する見込みである。

---

- ◎広東省、違法輸入の食肉1000トンを摘発  
【国際商報 2006年04月03日】

広東省検閲検疫局は、同省南海、順徳で違法に輸入された食肉など約1000トンを摘発した。順徳では、ブラジル、デンマークなどから違法に輸入された鶏の手羽、内臓、豚肉など221.6トン

を焼却処分した。南海では、アメリカ、イラン、ブラジルなどから違法に輸入された牛肉763.1トンを処分した。

このほかにもオランダ、ウルグアイ、オーストラリアから違法輸入された食肉製品、家禽肉などを摘発している。広東省では、2005年違法に輸入しようとした冷凍肉4888トンを摘発、肉製品3010トンを処分している。

---

### ◎蒙牛乳業、牛乳・乳製品市場シェアトップの座獲得

【経済日報 2006年04月06日】

中国商業聯合会、中華全国商業情報センターは、3日、全国大手小売企業商品販売調査統計を発表した。牛乳・乳製品市場では、乳製品大手・蒙牛乳業股分有限公司(蒙牛乳業)がトップの座を獲得したことを明らかにした。蒙牛乳業は「2005年度 小売商に最も人気のある10大ブランド」にも選ばれている。

蒙牛乳業の孫先紅・副総裁は、「わが社は新製品を相次いで開発しており、これが乳製品販売量3年連続トップの要因となっている」と語る。

また、蒙牛乳業の新製品「OMP特命蘇牛乳」は国家公衆栄養・発展センターの高評価を獲得した。さらに、内モンゴル自治区の内蒙古農業大学と共同設立した「乳製品バイオテクノロジー・プロジェクト」実験室も教育部の審査をパスしている。

---

### ◎メタンガス利用する発電事業、湖南省湘陰県で始まる

【中国化工報 2006年04月10日】

山東省青島康大集団のメタンガスを利用する大型発電事業が、先ごろ、湖南省湘陰県で着工した。今回のメタンガス発電事業は、投資総額2億元で、世界銀行が一部融資を行っており、第1期事業の投資額は3000万元、2007年1月に発電を開始する計画である。

湖南省湘陰県は、家畜飼育が盛んな地区で、豚の糞便による汚染、その処理が問題となっている。国際協力促進センター(ICPC)専門家は、全国137県を視察、最終的に湘陰県でメタンガス発電事業を行うことを決めた。今回の事業には、ドイツのLINDEグループ(林徳集団)がメタンガス発電技術を提供、フランスのARECA社が実際の建設を担当している。

本情報は、株式会社日本能率協会総合研究所により 翻訳された中国の新聞記事をもとに、同社の許可を得て 独立行政法人農畜産業振興機構が整理したものです。
--